

# レッツ チャレンジ! 2003 アピール

日本の女性は人口の半分を占め、世界最長寿の健康にめぐまれ、世界有数の高い教育を受けています。しかし、女性の能力は、今、社会で十分に活かされているとは言えません。

21世紀の日本はあらゆる分野で新しい夢と希望を、新しいアイデアを、新しいエネルギーを必要としています。

女性のチャレンジは社会に活気を与え、ひいては、男性も元気にします。

私たちは、あらゆる世代の人々に、「今こそ、レッツ チャレンジ!」と呼びかけます。

男女共同参画会議基本問題専門調査会としては、「女性のチャレンジ支援策」の推進のために、より多くのチャレンジの機会（選択肢）を提供するため、提言の中でも特に重点的な取組として3つの方策をお示しします。皆様のご理解を得ながら、以下のことを進めていきたいと思えます。



## 1 女性が活躍できるようポジティブ・アクションを推進

国連ナイロビ将来戦略勧告で示された30%の目標数値や諸外国の状況を踏まえ、社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に占める女性の割合が、少なくとも30%となることを目指して、各種取組を進めるよう提案します。このため、女性が活躍できるようなポジティブ・アクションを積極的に推進することが重要です。

## 2 身近なチャレンジモデルの提示

様々な分野で、希望をもってチャレンジできるよう、身近なチャレンジモデルを提示し、一人一人が自分に合ったチャレンジを具体的にイメージし、選択できるようにします。

## 3 いつでも、どこでも、誰でもチャレンジ

いつでも、どこでも、誰でもチャレンジしたいときに、チャレンジできる環境をつくります。働く、起業、NPO、農業、まちづくり、国際等の分野でチャレンジしたいとき、気軽に相談できる総合的な窓口をつくり、一箇所で必要な情報が得られるようにします。

これにより、チャレンジの多様な機会（選択肢）が広がります。